

【教育目標】

【知】自ら学び、考え、進んで行動する人

【徳】互いを尊重し、協力する人

【体】心身ともにたくましく健康な人

杉並区立中瀬中学校

下井草4-3-29 電話3399-2196

情報と体験、そして絆

校長 香西雅斗

連日のように九州や東北地方で豪雨のニュースが流れていますが、東京に限って言えば、今年はとても雨の少ない梅雨でした。科学と自然の散歩みちでは、百日紅（サルスベリ）のピンクや白い花が、暑い夏の到来を告げているようです。

7月5日(水)～7日(金)の1年生のフレンドシップスクールも、直前の台風にひやひやさせられましたが、1日目に少し雨に降られた以外は、晴天に恵まれました。今年から杉並の中学1年生は、交流自治体で2泊3日の宿泊行事を実施することになり、中瀬中学校の生徒たちは、新潟県小千谷市の農家に3～4人ずつの班に分かれ、宿泊体験をしてきました。

野菜を収穫したり、ちまきを作ったりと、様々な体験をしてきた生徒たちは、3日目の閉村式の後、駐車場でバスに乗り込む前に、それぞれお世話になった家の人を取り巻き、別れを惜しんでいました。目を真っ赤にしている生徒も結構いて、良い宿泊体験だったことがうかがわれました。



短い期間、お互いに初めて会ったからこそ、生徒たちは自分の頑張っているところを見せることができ、農家の方もそれに応え、良い関係をつくれたのかもかもしれません。でも、それだけでは、生徒たちの気持ちの変化を説明することは、できないと思います。

ICTの発達により、私たちは多くの情報を、驚くほど簡単に手に入れます。検索すれば、農村の生活について、様々なブログや動画を通して、細かいことまで情報を得ることができ、居ながらにして、農村のことを知ることができます。でも、知っていることと分かっていることには、大きな隔たりがあります。



きゅうりを収穫した時の香り、ちまきをくるむ笹の手触り、自分の皮膚で感じる汗と風。生徒たちは、視覚や聴覚だけではなく、臭覚や触覚など、五感全てを使って感知するとともに、土を手で掘りながらジャガイモを探すように、自然に働きかけ、自然の手ごたえを感じていたと思います。

お世話になった農家でも、農家の方と一緒に食事を作ったり作業したりする中で、良い子にしていただけではなく、きっと普段は、自分でも気が付いていない面を見せ、褒められたり、驚かれたり、時には叱られたりしながら、やりとりを楽しんでいたと思います。

SNSの情報は、文字や視覚・聴覚に限られているからこそ、簡単にスピーディーに関わりが広がっていきます。でも、その関わりを絆に深めていくには、五感と想像力をつかい、世界に働きかけ、世界の応答を楽しむ体験が必要です。

小千谷の風土と、暖かく迎えてくださった農家の方々とのやり取りの中で、生徒たちは、人と自然との絆を紡ぐ力を、確かに育んできました。生徒たちを受け入れてくださり、貴重な体験の機会としてくださった、小千谷の方々と自然に、改めて感謝いたします。

フレンドシップスクール

【飯盒炊爨】一日目は、お昼前に五十沢キャンプ場に着き、ご飯を炊いてカレーを作りました。途中、少しの間、強い雨に降られましたが、食べる時は雨も上がりました。初めて、飯盒でご飯を炊いた生徒もたくさんいて、水ぽかったりお焦げが結構できたり、苦労もしましたが、良い経験となりました。



＜緑の深い五十沢キャンプ場＞

【農家での宿泊体験】～生徒の振り返りより～

見知らぬ子供なのに、温かく迎え入れてくれて嬉しかった。おばさんやおじさんなど、全く知らなかった人のことを知ることができた。コミュニケーションをとることは楽しいことなんだと改めて実感した。…(A)

自分で収穫した野菜が夜ご飯に出てきたり、それを自分で調理することで喜びを感じられた。…民泊先でご飯と一緒に食べたりしたことで、コミュニケーションがとれ、たくさん話もできたので、家でも時間がある時は手伝いをし、会話の時間を増やしたい。(B)

知らない人の家に宿泊し、方言や雪国の暮らしなどに触れ、学ぶことができた。…知識として知っていることも、体験してみると、思っていたより難しかったりして意外な発見もあった。…苦手なトウモロコシが食べられるようになった。(C)

【防災学習】三日目は閉村式の後、おぢや震災ミュージアム「そなえ館」に行きました。



＜ビニール袋1枚で雨合羽を作成＞

2004年の中越大震災での震度7の揺れの体験をした後、職員の方の指導のもと、ビニール袋や新聞紙で、雨合羽やスリッパを作りました。

また、震災当時中学3年生だった職員の方から「揺れが始まったら立ってられなくなり、とにかく弾き飛ばされないよう、無我夢中で何かを掴んで耐えた。気が付いたらそれが友達の手だった。」「避難所では、何が出来るか、自分達で考え、夜にカンテラを持ってお年寄りがトイレに行く時に足元を照らしたり、雪かきをした。」「中学生は周囲の人の役に立てるという自覚を、皆さんももってください。」という話も伺うことができました。

進路学習

中瀬中学校では、1年生の「職業調べ」「お仕事見本市」、2年生の「職場体験」「先輩の話を聞く会」、3年生の「上級学校訪問」「卒業生のお話を聞く会」と計画的に進路学習に取り組んでいます。

7月7日(金)に2年生は、9人の社会保険労務士の方においでいただき、職場体験の事前学習として、「働くことについて考える」をテーマに、各クラスで授業を行っていただきました。



＜社会保険労務士の方の授業＞

生徒たちは、給与明細のサンプルを受け取り、「働く意義とは」「働くルールとは」「職業の種類と就労するためには」について話し合い、楽しそうに学んでいました。



＜立派になった4人の卒業生＞

3年生は7月14日(金)の4時間目に、学校支援本部「結」の加藤直美様に来校いただき、夏休みに行く上級学校訪問の手順とマナーについて指導をしていただきました。

同日の6時間目は、4人の高校2年生(卒業生)から、自分の高校生活や、受験を振り返ってみて考えていることを伺いました。「素早く切り替え、時間を大切に」「最後まであきらめない」「しっかり授業を受ければ高校でも役に立つ」

などのアドバイスを、みんな真剣に受け止めていました。質疑応答も含め、3年生にとって有意義な時間となりました。

地域に貢献する中瀬中

本校のキャッチフレーズの一つ「地域に貢献する中瀬中」について、1学期のボランティア活動の様子を紹介します。

【中瀬中ヤゴ救出大作戦】

6月18日(日)に中瀬中ヤゴ救出大作戦を行いました。これは、学校支援本部「結」の中瀬ビオトープ倶楽部が中心となり、本校のプールで産み落とされ、生育した水生昆虫を、地域の子どもたちで救い出す行事です。



< 紙芝居によるヤゴの生態の説明 >

当日は子ども74名・保護者48名が参加し、ヤゴ536匹・ゲンゴロウ

11匹を救出し、子どもたちは羽化させるためヤゴを自宅に持ち帰りました。中瀬中の生徒12名もボランティアとして、小さい子どものお世話や、プールの管理、ヤゴの生態についての説明、ヤゴを集めて数えたりと大活躍しました。



【レスキュー隊発足式と合同訓練】

7月9日(日)猛暑の中、阿佐ヶ谷中学校で、3年生5名1年生2名の計7名が、中学生レスキュー隊の発足式と合同訓練に参加しました。当日は学校支援本部「結」の、災害レスキュー隊担当、渡邊通生さんにもご協力をいただきました。訓練内容は、AED操作、初期消火、傷病者搬送などでした。中学生は災害時に、大切なマンパワーとして期待されています。今回の訓練が、日常の生活や非常時に役立てばと考えています。



< 阿佐ヶ谷中校庭で訓練 >

【社会を明るくする運動】



7月6日(木)に下井草駅で行われた「社会を明るくする運動」に3年生21名の生徒が参加しました。当日は日差しが強い中、青少年委員や保護司会の方の指導のもと、東原中学校の生徒とともに、約1時間の活動を行いました。街ゆく人々に声を掛け「社会を明るくする運動」を理解してもらうため、多くの方にチラシを配布しました。事前の準備も通して、生徒一人一人が、地域の一員としての意識を高めることができました。

7月6日(木)に下井草駅で行われた「社会を明るくする運動」に3年生21名の生徒が参加しました。当日は日差しが強い中、青少年委員や保護司会の方の指導のもと、東原中学校の生徒とともに、約1時間の活動を行いました。街ゆく人々に声を掛け「社会を明るくする運動」を理解してもらうため、多くの方にチラシを配布しました。事前の準備も通して、生徒一人一人が、地域の一員としての意識を高めることができました。



【沓掛小学校(くっかけ祭り)、桃井第五小学校(桃五小盆踊り大会)】

7月15日(土)の「くっかけ祭り」に8名の生徒が、16日(日)の「桃五小盆踊り大会」に7名の生徒がボランティアとして参加しました。応募した1年女子生徒と野球部有志、ボランティア部有志は、猛暑の中、屋台の下準備・人員整理・ビラ配り、輪投げとサッカーシュートのゲームスタッフなどで活躍しました。



< 桃五小での輪投げ >

自分も楽しみたいけれど『来てくれた人達に楽しんでもらうことで自分も楽しむ』気持ちは、とても素晴らしいものです。小学校の校長先生やPTA会長の方からも、お褒めの言葉をいただきました。

参加した生徒たちも、人の役に立った成就感を味わい、またなにかお手伝いすることがあれば参加します、と言いながら帰っていきました。



< 沓掛小で絶賛された
野球部ボランティアの水撒き >



< 沓掛小ビラ配りの準備 >

オリンピック・パラリンピック教育

2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、東京都全体で準備が始まっています。小中学校でも教育課程の中で、様々な取組をしています。本校では昨年度は、障害者理解・交流をテーマに、スペシャルオリンピックスの方やゴールボールチームの方のお話を伺い、交流をしました。



<当日の給食の様子>

本年度は、国際理解・交流がテーマとなっています。7月12日(水)には本校の応援割り当て国の一つである

カナダについて、給食・図書とのコラボレーションで、L. M. モンゴメリー作の「赤毛のアン」をテーマに、ビブリオカフェを行いました。

メニューは、ミルクパン、ベイグドトラウト、ポテトスープ、レタスサラダ、そしていちご水(アンの友達がこれと間違えてぶどう酒を飲んでしまった)のゼリーでした。



<朝学活用冊子>

9月9日(土)には、外国から来られた方々(主に留学生)との国際交流体験を企画しています。

8・9月の予定

⑤…スクールカウンセラー出勤日

日	月	火	水	木	金	土
8/27	職員会議 28	29	30	31	9/1	2
	出勤日	始業式 ②③復習確認テスト	給食開始 専門・中央委員会		PTA役員会10:00~	オータムコンサート
3	生徒会朝礼 4	⑤ 5	職員会議 6	7	8	9
		八成小6年来校		2年マナー講習 桃五小6年来校		土曜授業(国際交流体験)
10	全校朝礼 11	⑤ 12	校内研修 13	14	学校説明会 15	16
	学校公開始 選抜訓練 PTA運営委10:00~	杏掛小6年来校			学校公開終 生徒会役員選挙⑥	
17	敬老の日 18	⑤ 19	校内研修 20	21	22	23
		学習教室始 安全指導				
24	25	⑤ 26	27	28	29	30
	学習教室終	中間考査(国・数) 給食なし	中間考査(国・英・社) 専門・中央委員会		1年口腔保健指導	

<10月の予定> 10/3(火)~5(木)2年職場体験、4(水)小中合同研究会、6(金)第2回進路説明会
14(土)土曜授業、16(月)~27(金)音楽発表会準備期間…5時間授業、23(金)3年理科出前授業…プラネタリウム
30(月)音楽発表会



<6月30日(金)の開校記念特別行事の様子>

開校からの50年間をスライドで振り返った後、25期生で歯科医の大竹毅先生のお話を伺いました。修学旅行で、『大地讃頌』を京都駅のホームで合唱した先輩たちのことや、自分の青春時代の事など、楽しく貴重な話を聞くことができました。

<7月15日(土)の中瀬検定の様子>

たくさんの保護者と地域の方の協力で、全校生徒が「中瀬言葉の検定」にチャレンジしました。覚えてきた言葉全部の検定が受けられなかった人もいましたので、放課後検定も9月に行います。

